



受付第03A2203号
受付日：平成15年11月4日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成15年12月26日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野 幸
埼玉県草加市稲荷 5丁目2番20号



試験名称	面材合板を介した木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋717番1号
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：ニートプレート 接合条件：厚さ9mmの面材合板を介して接合 用途：柱の仕口に使用される金物（中柱型） 寸法：幅60mm，高さ100mm，厚さ2mmの鋼板を加工したもの（図-3参照） 材質：SGHC Z27 (JIS G 3302) 2. 接合具 木ねじ：3#角ビットA皿スクリューφ5.5×75mm（ねじ部の長さ55mm） 柱側4本，横架材側4本使用 谷の径；3.3mm，ねじ山のピッチ；3.1mm，ねじ先の形状；とがり先 材質；SWRCH22A (JIS G 3507) 相当品であり，下記の化学成分を満足する。 C (0.18~0.23%)，Si (0.10%以下)，Mn (0.70~1.00%) P (0.030%以下)，S (0.035%以下)，Al (0.02%以上) 表面処理：黒ラスパート 3. 使用軸組 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，含水率；7.5~9.3%，密度；0.44~0.48g/cm ³ 横架材：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，含水率；8.0~10.6%，密度；0.47~0.50g/cm ³ 面材合板：構造用合板（JAS特類2級），厚さ9mm 4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1~図-3（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準接合引張耐力(Pot)：5.7kN 耐力算定基礎資料：表-2 ただし，接合金物は厚さ9mmの面材合板を 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 介して接合し，横架材の固定位置は柱心 破壊状況：写真-1~写真-6 から一方を200mm，他方を400mmとした。
試験期間	平成15年11月12日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本 敏 男 試験責任者 高橋 大 祐 試験実施者 室 星 啓 和
試験場所	中央試験所